

# 3D Mercury

日本語ユーザマニュアル

GZ-FW1CA-AJS/AJB

Gigabyte Tech.社の冷却関連製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、ユーザーの皆様には冷却の最適なソリューションをご提供できますよう、ケース水冷/空冷ソリューション技術の統合に取り組んでおります。3D Mercuryシリーズのケースは最先端のデザイン、内蔵水冷システム、システムセキュリティ、容易な取り付け等の5つの特長を備えています。“3D Mercury”シリーズの詳細や仕様に関しては、弊社のウェブサイト(<http://www.gigabyte.com.tw>)をご覧ください。

下記の事項は保証の対象外となります。

1. 製品を不正に或いは設計目的以外の方法で使用。
2. 不適切な操作。
3. 他の装置の干渉による故障。
4. 製品の承認のない改変。
5. 製品の不良によって生じたその他対象への損傷。
6. 地震、落雷、火災や洪水などの天災より生じた故障。
7. 製品の保証ラベルのはがれ或いは損傷。
8. 電源、ハードディスク、光学ドライブ、マザーボード、通気設備などの内蔵機器を、コンピュータシステムの移動前に取り外さなかった為に生じたケース或いは他のコンピュータ関連機器の損傷。
9. ユーザーマニュアル記載のインストール手順に従わなかったことで生じる損失/損傷。

## ご注意

コンピュータ製品のインストール時に手袋をご使用にならないと、人体や機器に損傷を与えることがあります。コネクタの不正なインストールは、マザーボードやその他の部品をオーバーヒートする可能性があります。必ずインストールマニュアルの指示に従ってください。

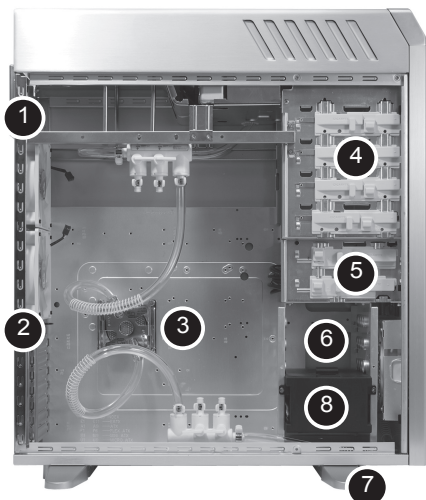


# 目次

1. 部品紹介	4
1-1 ケースの内部構造	4
1-2 前面、後部、左側パネルの構造	5
2. 特徴	6
3. 仕様/機能	8
4. 取り付け手順	9
4-1 電源の取り付け	9
4-2 マザーボードの取り付け	11
4-3 アドオンカードの取り付け	12
4-4 前面マルチメディアI/Oポートの取り付け	13
4-5 冷却ファンの電源ケーブルの接続	14
4-6 5.25”前面デバイスベイの取り付け	15
4-7 3.5”前面デバイスベイの取り付け	15
4-8 3.5”内部デバイスベイの取り付け	15
4-9 セキュリティロックの使用	16
4-10 スタンドの使用	16
4-11 透明側面パネルの使用	17
4-12 水冷システムの適用	17
4-13 4ウェイ スプリッタバルブの説明とユーザマニュアル	20
4-14 水冷システムのメンテナンス	24

# 1. 部品紹介

## 1-1 ケースの内部構造



1. 電源ベイ
2. PCI工具不要留め具、PCIスロットパネル
3. マザーボードトレイ
4. 5.25"前面デバイスベイ
5. 3.5"前面デバイスベイ
6. 3.5"内部デバイスベイ
7. スタンド
8. ツールボックス



a. スタンドオフx 12



b. 電源延長ケーブルx 2



c. 3.5"デバイス固定ランナーx 10



d. キーx 2



e. ワイヤークランプx 2



f. マザーボード固定用ねじx 12



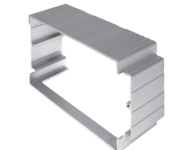
g. 電源固定用ねじx 4



h. AM2ウオーターブロック用ブラケット



i. 電源イキ固定用拡張プレートネジ

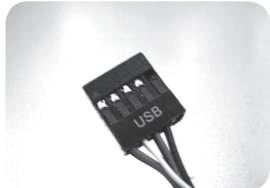


j. 電源用拡張プレート。



k. GIGABYTE冷却液x 2

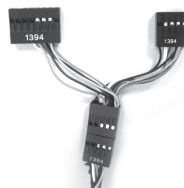
## 9. フロント用ケーブルキット



a. USB 2.0 x 2



b. オーディオ端子(HD & AC97)



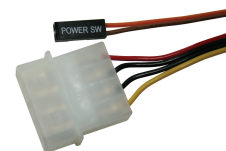
c. IEEE1394 (マルチコネクタ)



d. 3ピンファンコネクタ



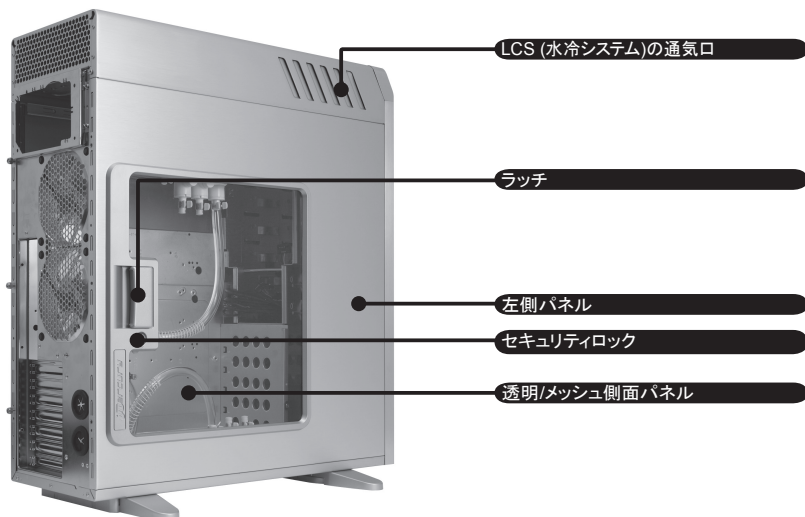
e. 電源スイッチ/リセットスイッチ  
/HDD用LEDコネクタ



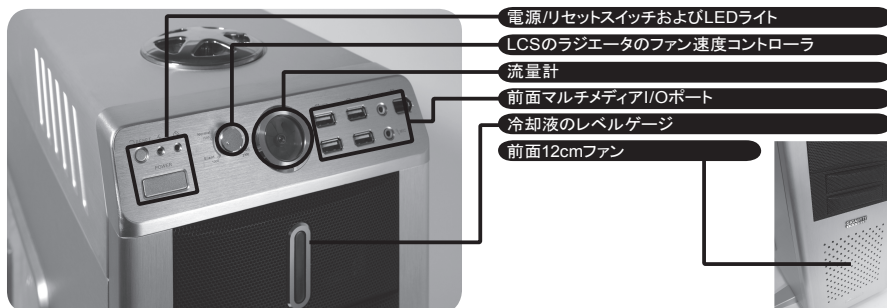
f. 2ピンおよび4ピンのマザー  
ボード電源コネクタ

## 1-2 前面、後部、左側パネルの構造

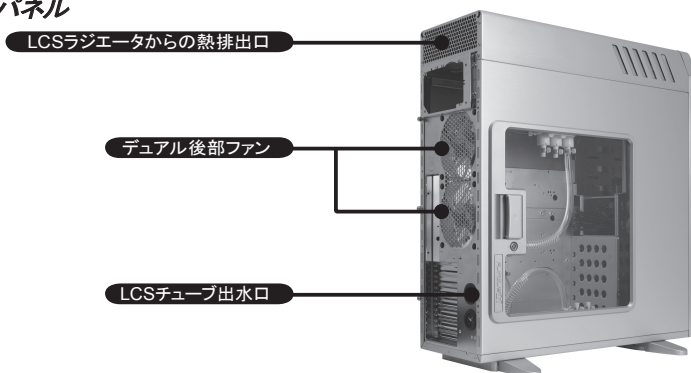
### a) 左側パネル



## b) 前面パネル



## c) 後部パネル



## 2. 特徴

## - 新しく性能アップ、超大容量

拡張ポディー、容易な取り付けやサービス、SLIおよびCrossfireのデュアル/クワッドマルチグラフィックカード対応、さらに12" x 13"のマザーボード対応を実現。

## - 高品位デザイン

Gigabyte Tech.社による最高水準のフルタワー冷却ケース。ヘアラインアルマイト仕上げの軽量アルミ合金製で、ヘアラインアルマイト仕上げのフルオープン方式のアルミ製側面パネルドア設計。

## - 完全な対応

前面パネルでの完全マルチメディア対応。USB 2.0 x 4、IEEE1394 x 1、オーディオ端子 (HD & AC97) x 1。

Gigabyte Tech.社の冷却ソリューションの水冷および空冷製品ラインに完全対応。  
ATX / Micro ATX / Mini ATX / E-ATX / CEBマザーボードに対応。

## - 冷却技術の統合

アルミ合金シャーシによるシステムの冷却性能の向上。シャーシの上部に位置するGIGABYTEの水冷システム。高性能静音ウォーターポンプ400L/hr。デュアル両側12cm静音ファン搭載の自動車標準仕様アルミラジエーター、純銅のCPU用ウォーターブロックおよびアップグレードが容易な4ウェイスプリッターバルブを2基搭載。簡単なステップのみで取り付けが完了。

## - システムセキュリティ

シャーシ正面のウィンドウでタンク内の冷却水レベルの確認が可能。  
自動車標準のチューブ使用によりチューブのたわみや不適切な水流の防止。  
流量計により、水流を表示。  
低水位防止機能(LWP)や加熱防止機能(OTP)の自動開始。  
側面パネルのセキュリティロックで最適なシステムセキュリティ。  
補強ニッケルプレート後部パネル。  
1.0mmの補強アルミ構造。

## - 容易な組み立て

取り付け、試験済みの即使用可能な統合LCS。  
キズ防止処理により、取り付け時より安心できるような設計。  
工具不要の取り付け設計。  
取り外し式ツールボックスにツール、ねじやケーブルを収納。  
片手で開閉可能な側面パネルによる容易な組み立てが可能。

### 3. 仕様/機能

型番:GZ-FW1CA-AJS/AJB

ケースタイプ:フルタワー

寸法:205mm x 620mm x 535mm (幅x高さx奥行き)

フロントベゼル素材:アルミニウム

カラー:シルバー/ブラック

側面パネル:通気メッシュ/透明アクリル

本体素材:アルミニウム(1.0mm) / ニッケルプレートSECC (1.0mm)

本体重量:12KG

5.25"ドライブベイ(外部):4コントローラ

3.5"ドライブベイ(外部):2個

3.5"ドライブベイ(内部):5個

拡張PCIスロット後部:7

マザーボードサイズ:ATX / Micro ATX / Mini ATX / E-ATX / CEB

システムファン(前面):12cm 静音青色LEDファン(1000 RPM) x 1

システムファン(後部):12cm 静音青色LEDファン(1000 RPM) x 2

LCSファン(上部):12cm 調節可能ファン (1000 RPM - 2600 RPM) x 2

マルチメディアI/Oポート:USB 2.0 x 4、IEEE1394 x 1、オーディオ端子(HD & AC97) x 1

## 4. 取り付け手順



取り付けの際は参照項目に従ってください。

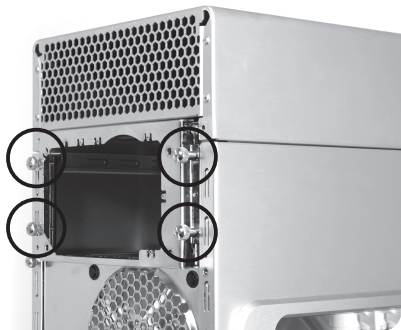
### 4-1 電源の取り付け

取り付けを容易にするために、シャーシをテーブルの上に縦に置くことをお勧めします。

必要ツール:電源固定ねじx 4

**4-1-1** 左側パネルのつまみねじを取り除き、サイドパネルのラッチを外して左側パネルを取り外します。

**4-1-2** シャーシ背面にある電源リテーナープレートをつまみねじを取り除き、電源リテーナープレートを取り外します。



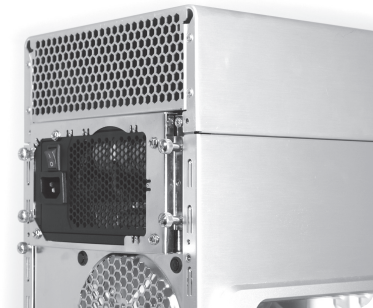
**4-1-3** 固定ねじ4本を使用して電源ユニットをリテーナープレートに固定します。



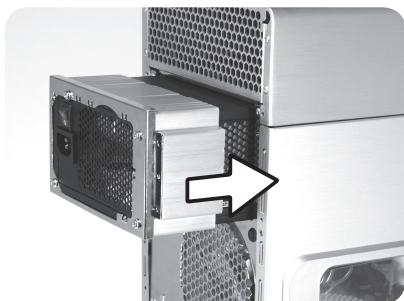
**4-1-4** シャーシ後部から電源ユニットを滑り込ませます。



**4-1-5** つまみねじを使用して電源リテーナープレートをシャーシ背面に固定します。



4-1-6 より奥行きが長い電源ユニットご使用の場合には、電源用拡張リテーナープレートを使用し、拡張ねじで固定します。



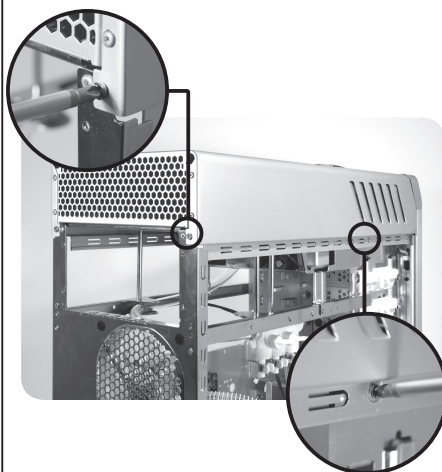
4-1-7 背面からののはめ込みが困難な非標準サイズの電源を使用される場合には、以下の記載方法で取り付けます。本手順には十字スクロイドライバが必要です。

4-1-7a 側面パネルの親指ねじを取り除き、両側のパネルを取り外します。

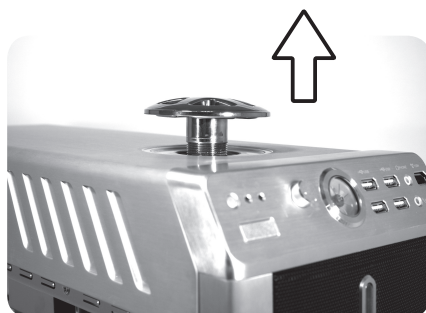
4-1-7b シャーシ背面にある電源リテーナープレートの親指ねじを取り除き、電源リテーナープレートを取り外します。

4-1-7c 固定ねじ4本を使用して電源ユニットをリテーナープレートに固定します。

4-1-7d 後部に2本、両側に2本ずつあるシャーシの天板部のねじを取り除きます。

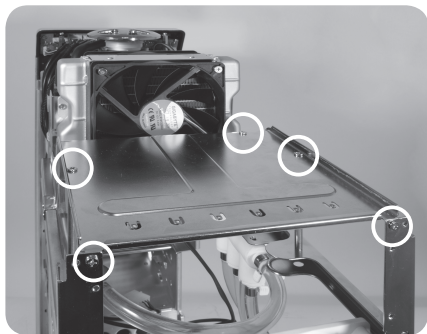


4-1-7e 冷却液用タンクのふたを外してから天板を取り外します。

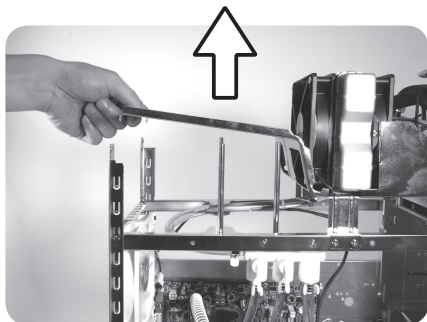




4-1-7f 水冷システム(背面パネルの電源エリア上部)のねじ(合計5本)を外します。



4-1-7g 静かに水冷システムトレイを持ち上げ、シャーシ後部から電源ユニットをはめ込みます。



4-1-7h より奥行きが長い電源ユニットをご使用の場合には、電源用拡張リテーナープレートを使用し、拡張ねじで固定します。

4-1-7i 部品の再組み立ての場合には逆の手順に従います。

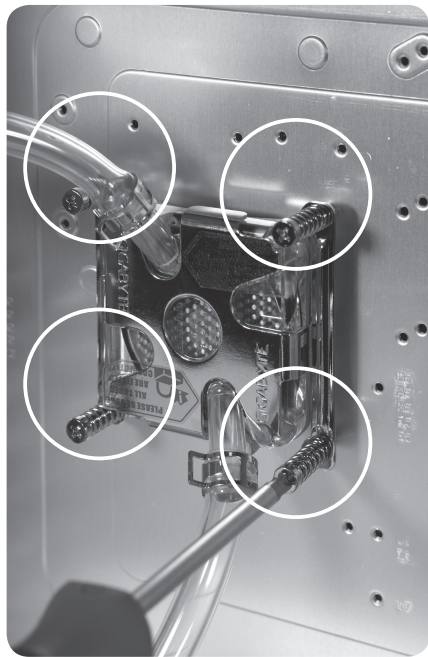
## 4-2 マザーボードの取り付け

3D MercuryはATX / Micro ATX / Mini ATX / E-ATX / CEBマザーボードに対応しています

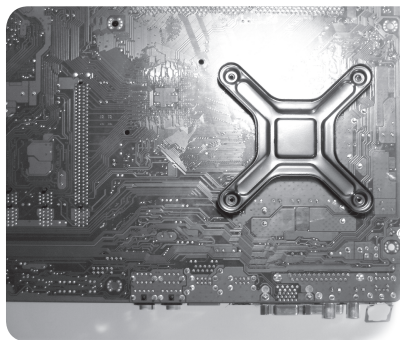
取り付け前にマザーボードのねじ穴位置およびマザーボードのサイズ仕様を確認してください

必要ツール: スクリュードライバー、スタンドオフおよびマザーボードねじ

4-2-1 まず、シャーシのマザーボードトレイからCPU用ウォーターブロックを取り外します。



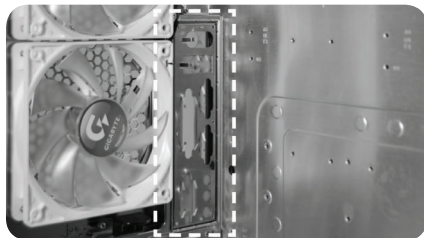
4-2-2 マザーボードがLGA775対応の場合には、バックプレートを使用してマザーボードの後部に接着します。



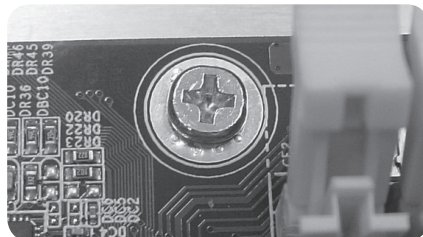
4-2-3 マザーボードのサイズ仕様に応じて適切なねじ穴を選び、スタンドオフをはめ込みます。注:不適切な取り付けはマザーボードをショートさせ、その他のハードウェアの故障または損傷を引き起こすことがあります。



4-2-4 ケースの背面壁にマザーボードI/Oバックボードを取り付けます(マザーボードメーカーにより提供されます)



4-2-5 マザーボードねじを使用してケースの背面壁にマザーボードを固定します(マザーボードマニュアルを参照して、お使いのマザーボードのタイプを確認してください)。



マザーボード	コード名
ATX	A1-A9
Mini ATX	M1-M9
Micro ATX	U1-U9
E-ATX	E1-E12

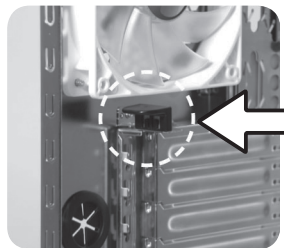
マザーボードねじ	ケースの銅柱
9	9
9	9
9	9
12	12

## 4-3 アドオンカードの取り付け

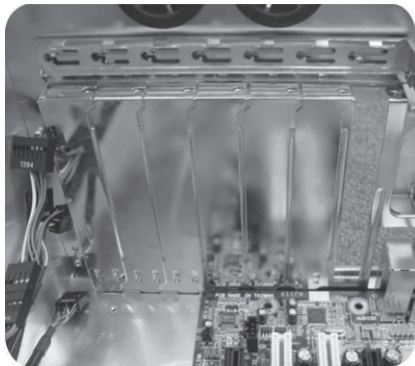
3D Mercuryでは、グラフィックカードやネットワークカードなどのアドオンカードの取り付けにツールを必要としません。

必要ツール:なし

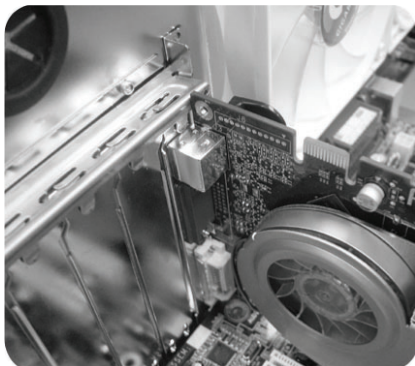
4-3-1 PCIスロットのリテンションロックを解除します。



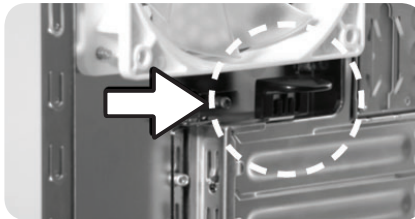
4-3-2 内部付属のPCI防塵カバーを取り外します。



4-3-3 インターフェースカードを拡張スロットに注意深く差し込みます。



4-3-4 PCIスロットのリテンションロックを閉め、カードが固定されていることを確認します。



## 4-4 前面マルチメディアI/Oポートの取り付け

スロットの不正な接続はマザーボードの故障や破壊を招くことがあります。取り付けの際にはマニュアルを注意深くお読みください。不適切な取り付けや接続による故障は保証の対象になりません

前面パネルの構成

- (1) USB 2.0 x 4、IEEE1394 x 1、HDまたは AC97オーディオ端子(マザーボードに依存)
- (2) ケースの電源スイッチコントロールケーブル基本キット

必要ツール:なし

4-4-1 USB 2.0コネクタをマザーボードの該当ソケットに差し込みます(詳細に関してはマザーボードユーザーマニュアルをご参照ください)。

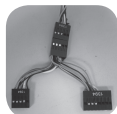
### USB 2.0コネクタ



ピン	定義	ピン	定義
1	電源	6	USB Dy+
2	電源	7	GND
3	USB Dx-	8	GND
4	USB Dy-	9	
5	USB Dx+	10	USBの過電流

4-4-2 IEEE 1394コネクタをマザーボードの該当ソケットに差し込みます。マザーボードメーカー提供の説明書をご覧になって、取り付け前に正しいタイプのコネクタが使用されていることを確認してください。

## IEEE 1394コネクタA



ピン	定義	ピン	定義
1	TPA+	6	TPB-
2	TPA-	7	
3	GND	8	+12V
4	GND	9	+12V
5	TPB+	10	GND

## IEEE 1394コネクタB



ピン	定義	ピン	定義
1	TPA+	6	TPB-
2	TPA-	7	+12V
3	GND	8	+12V
4	GND	9	
5	TPB+	10	GND

## IEEE 1394コネクタC



ピン	定義	ピン	定義
1	+12V	9	+12V
2	+12V	10	+12V
3	TPA+	11	TPA1+
4	TPA-	12	TPA1-
5	GND	13	GND
6	GND	14	
7	TPB+	15	TPB1+
8	TPB-	16	TPB1-

4-4-3 オーディオコネクタをマザーボードの該当ソケットに差し込みます。

## HDオーディオ



ピン	定義	ピン	定義
1	MIC2 L	6	FSENSE1
2	GND	7	FAUDIO JD
3	MIC2 R	8	No Pin
4	-ACZ DET	9	LINE2 L
5	LINE2 R	10	FSENSE2

## AC'97



ピン	定義	ピン	定義
1	MIC	6	NC
2	GND	7	NC
3	MIC電源	8	NO Pin
4	NC	9	Line Out(L)
5	Line Out(R)	10	NC

4-4-4 ケースの電源スイッチコントロールケーブル基本キット。



コネクタ	色
リセットSW	緑色(+)/白色(-)
電源SW	赤色(+)/白色(-)
H.D.D. LED	茶色(+)/白色(-)

4-4-5 電源スイッチコネクタ、LCS電源(LCS緊急シャットダウンを含む)。



注意、マザーボードのタイプにより取り付けエリア、取り付け仕様、ねじ穴およびコネクタが異なります。マザーボードメーカー提供のマザーボードユーザーマニュアルをお読みください。

## 4-5 冷却ファンの電源ケーブルの接続

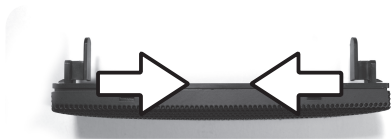
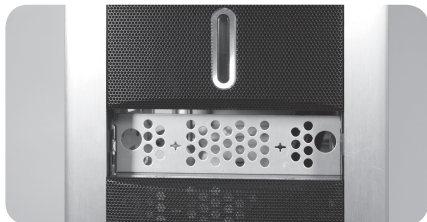
3D Mercuryは、正面に1基、背面に2基、12cm 静音青色LED冷却ファンを搭載しています。

必要ツール:なし

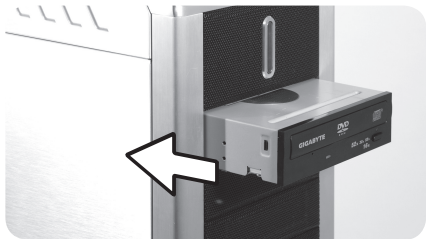
このケースには、正面ファンと背面ファンを1つの3ピン電源コネクタに接続するための内部コネクタが含まれています。3ピンコネクタをマザーボードのファン電源コネクタに差し込むと接続が完了します。

## 4-6 5.25"前面デバイスベイの取り付け

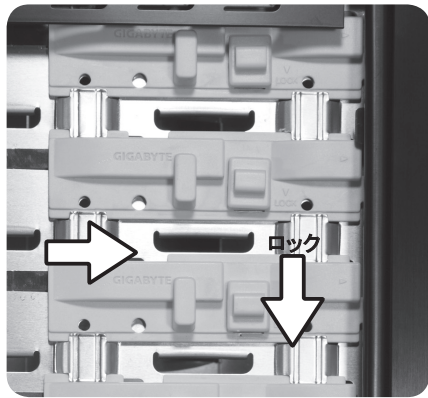
4-6-1 ケースの側面パネルを開け、シャーシのメッシュタイプのドライブレールおよびEMIプレートを取り外します。



4-6-2 他のメッシュタイプドライブレールと同じ高さで、シャーシの正面から5.25"デバイスをドライブベイに滑り込ませます。



4-6-3 5.25"デバイスを内部ラッチに固定します。取り付け手順に関しては下の図を参考にして下さい。



## 4-7 3.5"前面デバイスベイの取り付け

3.5"前面デバイスの取り付けは5.25"前面デバイスと同じです。ステップ4から6をご参照ください。

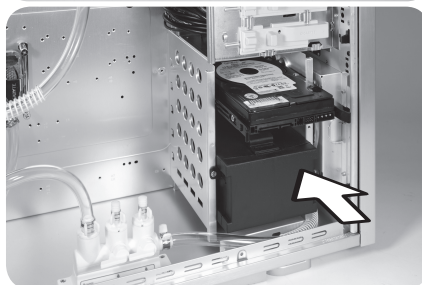
## 4-8 3.5"内部デバイスベイの取り付け

3D Mercuryは、最大5台のハードデスクドライブを格納できる内蔵ベイを装備しています(ツールボックスの取り外し後)。内蔵HDDは固定ランナー(黒色ツールボックスに収納)を必要とします。

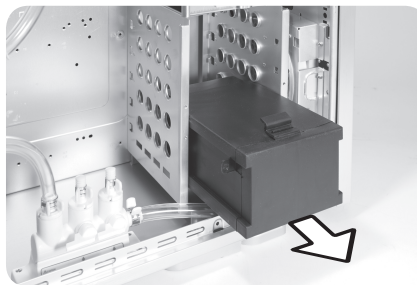
必要ツール: 固定ランナー(各HDD毎に2本)

4-8-1 HDDの両側に固定ランナーを取り付け、HDDを内部ドライブベイに滑り込ませます。

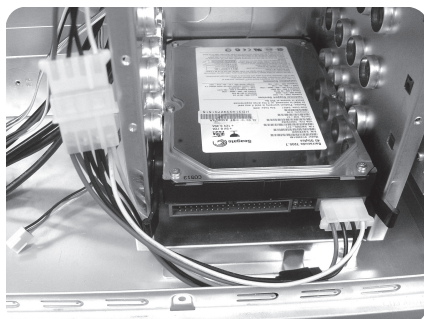




**4-8-2** 4台目および5台目のHDDの取り付けは、ツールボックスを取り外した後、以下のステップ4-8-1に従って行います。



**4-8-3** 電源ケーブルの長さが底部のHDDの取り付けに十分でない場合、ツールボックス付属の電源延長ケーブルを使用することができます。HDDのコネクタのタイプに応じて接続してください。



## 4-9 セキュリティロックの使用

3D Mercuryは側面パネルに安全ロックを装備しています。

キーをセキュリティロックに差し込み、下の図のように90°回転してロックまたは解除します。



## 4-10 スタンドの使用

3D Mercuryには4つのスタンドがありケースを設置表面にしっかりと固定させます。図のようにフット部を90°回転させて引き出したり、収納することができます。

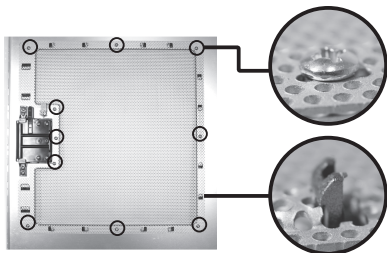
注: ケースを移動あるいは横向きに設置する場合、スタンドの変形を防ぐためにフット部を収納位置に回転してください。



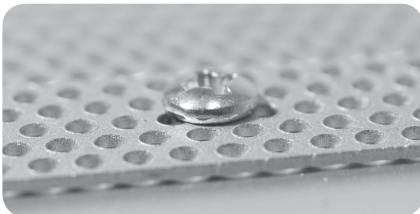
## 4-11 透明側面パネルの使用

必要ツール: 十字スクリュードライバー、透明側面パネルウィンドウ。

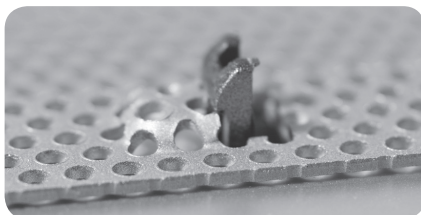
a. 側面パネルを開き、内側を上に向けて床に置きます。



b. メッシュグリッドから固定ねじを取り外します。

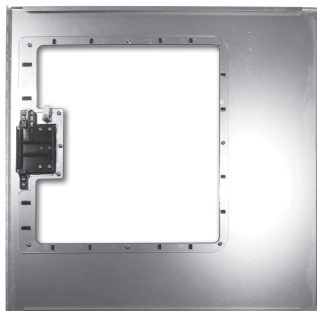


c. プラスチッククランプを緩め、メッシュグリッドを取り外します。



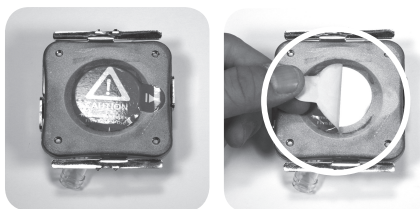
d. 透明側面パネルウィンドウをダンボール箱から取り出し、保護プラスチックを取り除きます。

e. 透明側面パネルウィンドウを突出面を外側にして側面パネルにねじで固定します。

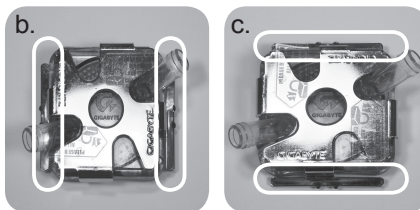
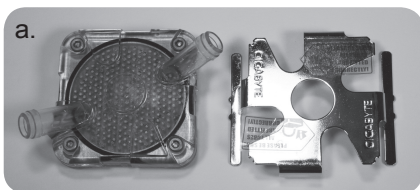


## 4-12 水冷システムの適用

4-12-1 CPUウォーターブロック取り付けの注意: CPUウォーターブロックの底部から警告シールを必ず剥がしてください。CPUの表面にサーマルペーストを均一に塗ります。

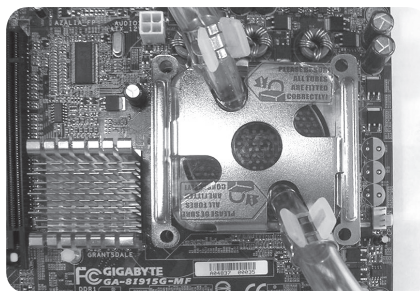


AMD K8用クリップをウォーターブロックから取り外して(図a)、適切な方向に調節して取り付けることができます(図b/c)。

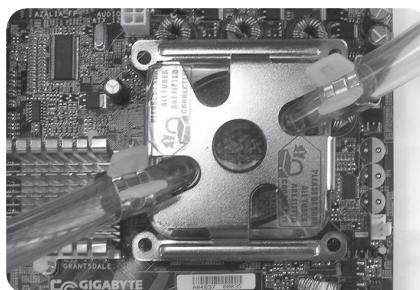


4-12-2 Intel® CPU LGA775用ブラケットの取り付け。

4-12-2-1 ウォーターブロックをIntel® CPU LGA775 CPUに装着(図a)し、適切な方向に調節します(図b)。

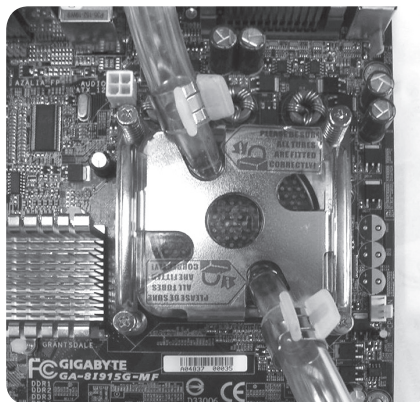


図a



図b

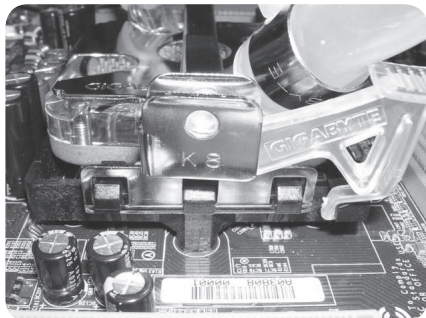
4-12-2-2 ウォーターブロックを付属のスプリングねじでマザーボードに固定します。



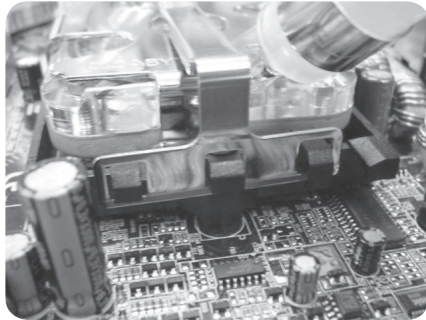


#### 4-12-3 AMD K8 (754/939/940)クリップカバーの取り付け

4-12-3-1 LGA775クリップカバーをAMD K8クリップカバーと交換し、AMD K8クリップをCPUの3つの突起部に揃えます。

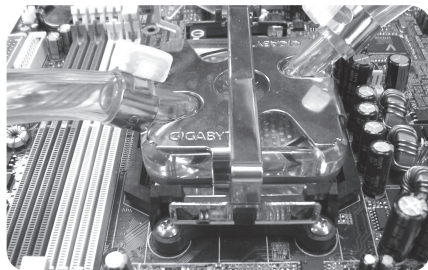


4-12-3-2 AMD K8クリップカバーのラッチを閉め、ウォーターブロックがCPUに適切に固定されたことを確かめてください。

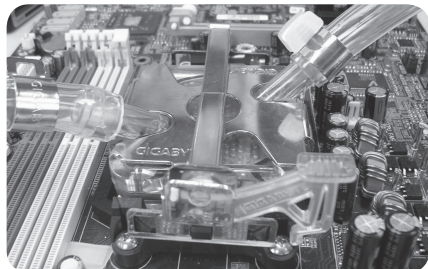


#### 4-12-4 AM2クリップカバーの取り付け

4-12-4-1 ウォーターブロックのクリップカバーをAMD AM2クリップカバーと交換します。AMD AM2クリップをCPUの3つの突起部に揃えます。

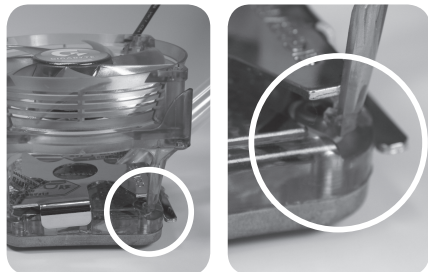


4-12-4-2 AMD AM2クリップカバーのラッチを閉め、ウォーターブロックがCPUに適切に固定されたことを確かめてください。

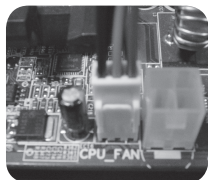


#### 4-12-5 Mosfet空冷ファンの取り付け。

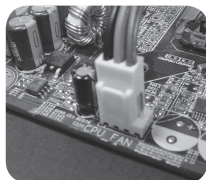
4-12-5-1 Mosfet CPUアンをウォーターブロックの上部に配置し、Mosfet空冷ファンの4つの足がウォーターブロックにしっかり接続されたことを確認します。



4-12-5-2 ファンの3ピン電源コネクタをマザーボードのCPUファンソケットに差し込みます(図a:3ピンCPUファンソケット/図b:4ピンCPUファンソケット(LGA775))



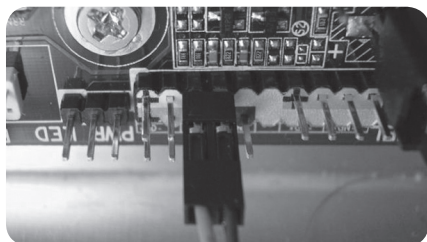
図a



図b

4-12-6 ポンプ電源コードの取り付け。

4-12-6-1 ポンプの電源SWコードのメス型2ピンを、マザーボードの“+PW-”ジャンパに接続します。



4-12-6-2 ポンプの4ピンコネクタを電源の4ピンコネクタに接続します。



4-12-7 タンクへ冷却液を注入します。シャーシの上部の蓋を取り外し、シャーシの正面パネルの冷却液レベルゲージを確認します。タンク容量の80%まで満たし、蓋を閉めます。すべての冷却液がチューブに流れ込むまで電源をオンにします。タンクの冷却液が低レベルまたは空になるとシステムは自動的にシャットダウンされます。(チューブやラジエータは液体で満たされていないため、これは正常な現象です。)蓋を再び開け、タンクを容量の80%まで満たし、チューブやラジエータが冷却液で満たされ、冷却液のレベルが常時に80%になるまでこの手順を繰り返します。



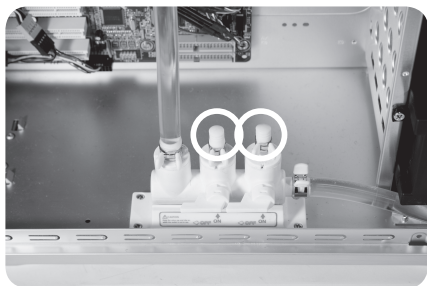
## 4-13 4ウェイ スプリッタバルブの説明とユーザマニュアル

注: Gigabyte Blue Eyeビデオカードウォーターブロックおよびチップセット

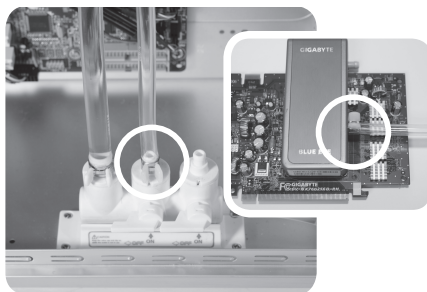
ウォーターブロックは例として使用されています。

警告:取り付け前にPCの電源がオフになっていることをご確認ください。

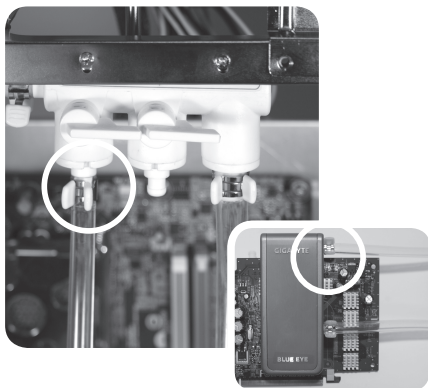
**4-13-1** キャップおよびチューブクリップを4ウェイのプリッターバルブから外します。その際電源を入れないでください。バルブが閉じていることを確認してください。



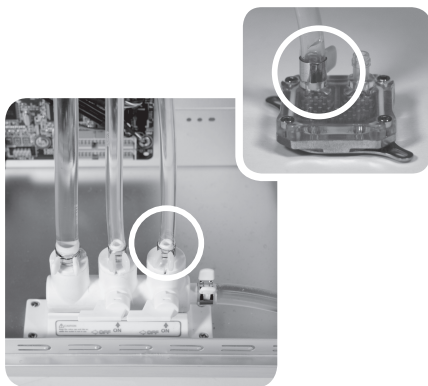
**4-13-2** チューブを適切な長さに切断します;4ウェイ スプリッターバルブ(1)の最初のスプリッタに接続し、もう一方の端をビデオカードウォーターブロック Blue Eyeの入水口に接続し、クリップを固定します。



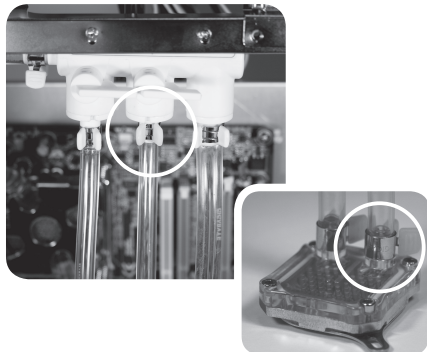
**4-13-3** チューブを適切な長さに切断し、4ウェイ スプリッターバルブ(2)の二番目のスプリッタに接続し、もう一方の端をビデオカードウォーターブロック Blue Eyeの出水口に接続し、クリップを固定します。



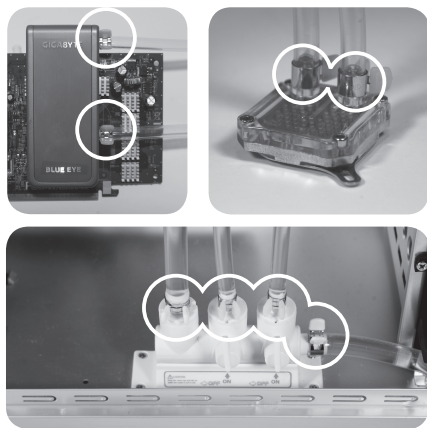
**4-13-4** チューブを適切な長さに切断し、チューブの一端を4ウェイ スプリッターバルブ(1)の二番目のスプリッタに接続し、もう一方の端をチップセットのウォーターブロックの入水口に接続し、クリップを固定します。



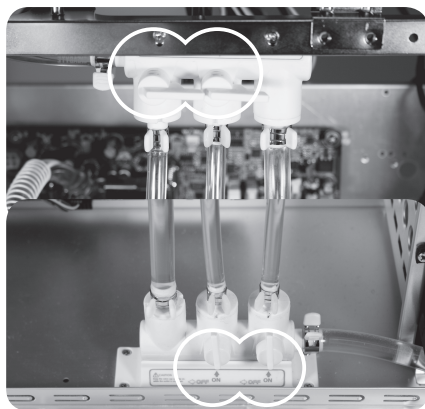
4-13-5 チューブを適切な長さに切断し、チューブの一端を4ウェイバルブ(2)の一番目のスプリッタに接続し、もう一方の端をチップセットのウォータブロックの出水口に接続し、クリップを固定します。



4-13-6 電源を入れる前にすべてのチューブクリップが(図a,b,cのように)しっかり固定されていることを確認し、4ウェイスプリッターバルブを(図d,eのように)開きます。



図a,b,c



図d,e

4-13-7 電源を入れてから冷却液をタンクの80%まで満たし、水冷システムの取り付けを完了します。



注意: 解体のためにチューブを取り外す際は、4ウェイ スプリッターバルブのスイッチをオフにし、電源を落とし、すべての装置を電子部品から遠ざけたことを確かめてください。



注:

コンピュータの落下または損傷による冷却液の漏れを防ぐため、コンピュータの移動前に、水冷システムからすべての冷却液を排出することを強く推奨します。製品の工場出荷前にこの試験は既に行われていますが、シャーシは水冷システム内に冷却液が入ったまま移動するようには設計されていません。

注意:

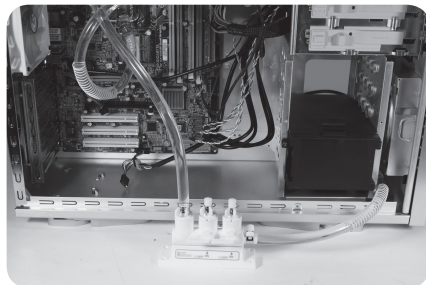
GIGABYTEの冷却液のみをご使用ください。他の冷却液使用によるいかなる損傷も保証の対象外となります。不適切な取り付けによる冷却液の漏れはシステムを損傷する可能性があります、その場合には保証の対象になりません。

#### 4-13-8 すべての冷却液の排出。

- すべての電源がオフになっていることをご確認ください。
- 十字スクリュードライバーと空の容器を用意します。
- シャーシをテーブルまたは高い台の上に置き、空の容器をシャーシの横の床の上に置きます。
- 十字スクリュードライバーを使って、シャーシの底部から4ウェイプリッタバルブを取り外します。



- 4ウェイプリッタバルブをシャーシの外に置き(図A)、右側のチューブを外し(図B)、冷却水をバケツ/タンクに排出します(図C)。電源を入れてタンク内の液体を流出させます。



図A



図B



図C

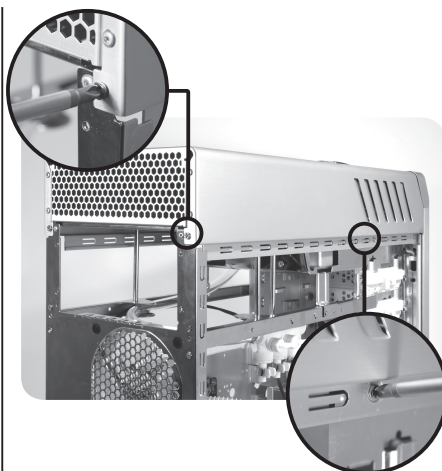
- f. シャーシを軽くゆすって余分な冷却水をチューブから排出させます。
- g. 全冷却液の排出後、シャーシの移動や部品の交換が安全に行えます。

## 4-14 水冷システムのメンテナンス

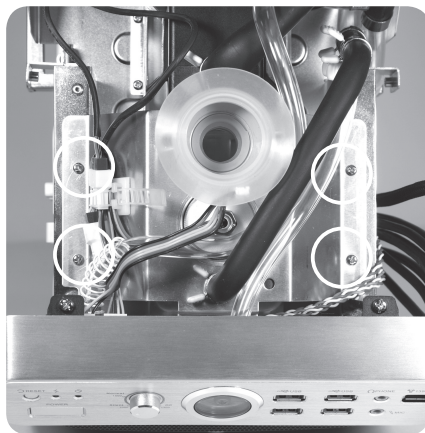
**4-14-1** 冷却液のレベルが低すぎる場合には、上部の蓋をはずし、冷却液を満し、そして蓋をきちんと閉めます。

**4-14-2** ポンプから異常音がある場合には、チューブ内に空気がないかを確認してください。その際にはツールが必要になります。十字スクレュードライバーと(チューブを外す際に漏れる液体を拭くための)布を用意してください。

- a. シャーシから冷却液を排出する際は上記の方法で行ってください。
- b. 後部に2本、両側に2本ずつあるシャーシの天板部のねじを取り除きます。



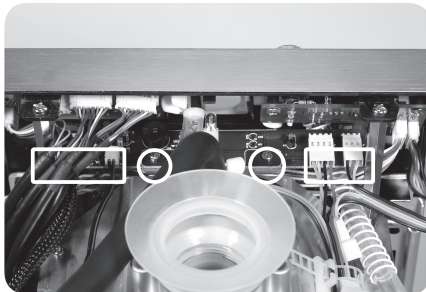
- c. シャーシ上部の蓋を外します。
- d. タンクを固定している4本のねじを取り除きます。



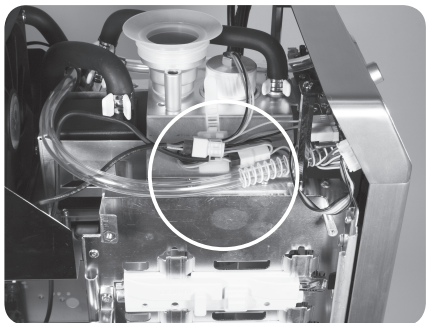
- e. タンクに接続されているチューブを取り外します。



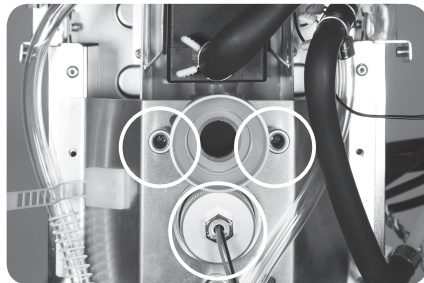
- f. PCB前面部から4基のコネクタを、さらに2本の固定ねじを取り外します。



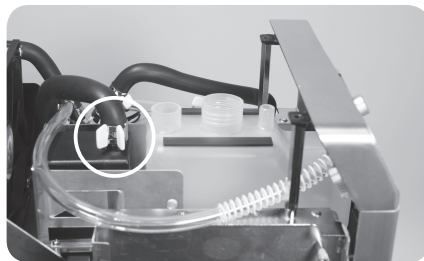
- g. ケーブルホルダーからケーブルを外します。



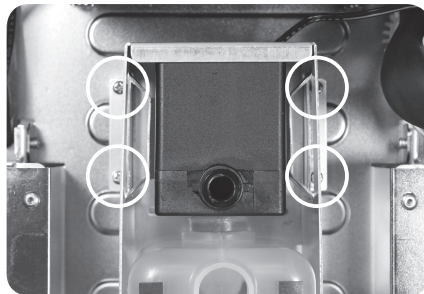
- h. じょうごを固定しているねじ2本を外し、じょうごおよびLWPアラーム用の冷却液レベル計測器を取り外します。



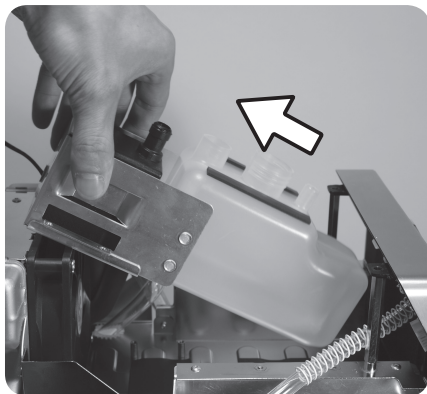
- i. タンクを固定しているプレートおよびポンプのチューブを取り外します。



- j. ポンプをシャーシに固定しているねじを外します。



k. ポンプとタンクを取り外します。



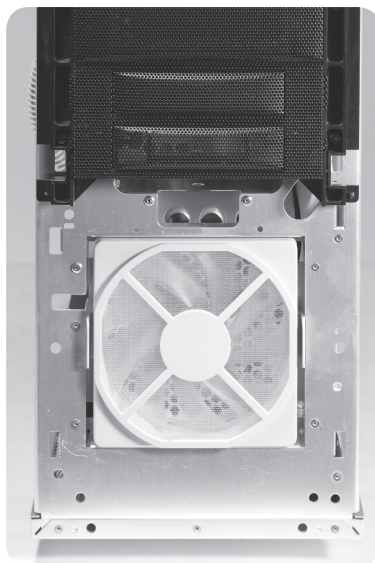
l. 交換する必要がある部品を交換し、逆の手順に従って再組み立てします。

**4-14-3** フロントファンホルダーのフィルターを清掃します。

- a. 側面パネル2枚を開けます。
- b. 前面パネルをシャーシに固定しているプラスチッククランプを緩め、前面パネルを取り外します。



c. ファンホルダーを取り出し、ファンをホルダーから外します。



d. ファンフィルターの清掃後、逆のステップに従って再組み立てします。

購入推奨部品

- GIGABYTE VGA空冷クーラー
- GIGABYTE Blue Eye (ビデオカードウォーターブロック)
- GIGABYTEチップセットウォーターブロック
- GIGABYTEラジエーター